

平成 25 年度 公益財団法人浜松市医療公社事業計画

1 病院基本理念

安全・安心な、地域に信頼される病院

2 病院基本方針

- (1) 患者の権利と尊厳を尊重し、患者中心の安全・安心な医療を提供します
- (2) オープンシステムを活用し、地域医療連携ネットワークを強化します
- (3) 地域の救急・災害医療を支え、小児・周産期医療を守ります
- (4) 時代の要請に応えた高度・先進医療を推進します
- (5) 医療に関する調査・研究を推進し、国内外に情報を発信します
- (6) 職員の教育・研修に努め、国際的に通じる真の医療人を育成します
- (7) 効率的な病院経営に努め、健全な財政基盤を確立します

3 平成 25 年度病院目標

- (1) 6 S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ・節約）活動の徹底
- (2) チームパフォーマンスで医療安全力を高める

4 事業内容

- (1) オープンシステムによる地域診療所等からの不特定多数の紹介患者の診療
 - ア 診療所や病院の特色を考慮した専門性の高い連携体制の構築
 - イ 診療所医師に対する各科の専門性や治療実績の情報提供及び宣伝
 - ウ **充実** 救急科の充実、総合診療科の定着など総合内科機能の強化

- (2) 地域診療所等への手術設備、高度医療機器及び病床の提供
 - ア 公設病院として地域の医療供給体制を支える医師体制の充実
 - イ 急性期リハビリテーション分野（病棟リハビリテーション等）の充実
 - ウ 歯科口腔外科用パノラマCTの活用及び地域連携の拡大
 - エ **充実** 下肢静脈瘤レーザー手術の充実
 - オ **充実** 自己心膜組織を使用した大動脈弁形成術の充実
 - カ **充実** 人工心肺を使用しない冠動脈バイパス手術の充実
 - キ **新規** 身体への負担が大幅に軽減される低侵襲心臓手術（MICS）の本格的導入
 - ク **新規** 腹部大動脈瘤に対するステントグラフト手術の導入
 - ケ **充実** 不整脈に対するカテーテルアブレーション治療の充実
 - コ **充実** 血管内超音波イメージングシステムの導入など虚血性心疾患、末梢動脈

疾患に対するカテーテル治療の充実

- サ **充実** 胆・膵領域における超音波内視鏡関連手術の充実
- シ **充実** 身体的負担が少ない肺がんに対する完全胸腔鏡下手術の充実
- ス **新規** 強度変調放射線治療の導入検討
- セ **新規** 眼科領域の難症例に安全に対処するためマイクロ虹彩剪刀の導入
- ソ **充実** 手術センターにおける医薬品等の安全管理のため麻酔カートの更新
- タ **充実** 幅広いニーズに応えるため観察性能の向上した腹腔鏡カメラシステムの増設
- チ **充実** 新しい吸入麻酔や長時間手術に有用な全身麻酔装置の更新
- ツ **新規** 先進医療「四肢関節における実物大臓器立体モデルによる手術支援」の導入
- テ **充実** 顎変形性外科的治療の充実

【関連指標】

指 標	平成 25 年度計画
手術件数	5,500 件
下肢静脈瘤レーザー手術	40 件
自己心膜組織を使用した大動脈弁形成術数	10 件
人工心肺を使用しない冠動脈バイパス手術	30 件
低侵襲心臓手術（MICS）	1 件
腹部大動脈瘤に対するステントグラフト手術	15 件
不整脈に対するカテーテルアブレーション治療	120 件
虚血性心疾患、末梢動脈疾患に対するカテーテル治療	250 件
胆・膵領域における超音波内視鏡関連手術	60 件
肺がんに対する完全胸腔鏡下手術数	5 件
四肢関節における実物大臓器立体モデルによる手術支援	2 件
顎変形性外科的治療数	70 件

(3) 地域医療支援病院として診療所等との連携及び機能分担の推進

- ア 他の一般病院との競合する診療分野における公的役割を踏まえた連携と分担の推進
- イ 電子的な紹介状、画像を用いた積極的な地域医療支援の充実
- ウ 電子カルテを用いた情報の共有化による十分な協力体制の構築
- エ 医療連携の視点からのセカンドオピニオン外来（よりよい決定をするために、もう一人の医師が診断する）の運営
- オ 診療協議会の開催により、地域医師のための生涯教育活動を推進
- カ **充実** 診療所医師との循環器疾患に関する勉強会の継続開催

- キ **充実** 診療所医師との糖尿病勉強会の頻回な開催および講師の積極的な受託
- ク **充実** 脳卒中地域連携クリニカルパスの効率的運用の継続
- ケ **新規** ポート外来の充実、肛門外来の新設など専門性の高い医療の提供

【関連指標】

指 標	平成 25 年度計画
診療協議会開催回数	48 回
循環器疾患関連勉強会開催回数	5 回
糖尿病関連勉強会開催回数	5 回
脳卒中地域連携クリニカルパス症例数	100 例

(4) 地域の救急医療の提供及び小児・周産期医療の確保

- ア 救急患者の受け入れ
- イ **充実** 自家用車などで直接来院する救急患者の受け入れ拡大（総合外来機能の強化）
- ウ **新規** 救急搬送患者及び急病患者に対応する救急外来への診察機能集中
- エ **新規** 救命救急センター 4 対 1 看護体制の整備による重篤な救急患者に対する質の高い医療の提供
- オ **充実** 救急医療の効率化促進のため院内トリアージの拡大の検討
- カ **充実** 日本内科学会認定教育病院として内科救急・蘇生講習会の開催
- キ **新規** 呼吸機能などの生体情報を管理し、適切な診断・治療を実行するため救命救急・集中治療部門への生体情報システム導入

【関連指標】

指 標	平成 25 年度計画
救急搬送件数	5,600 件
内科救急・蘇生講習会の開催回数	1 回

- ク 専修医制度による医師確保など新生児・小児救急体制の整備
- ケ **新規** 新生児への安定した保育環境提供のため高頻度振動換気施行可能な新生児用人工呼吸器及び酸素・体温モニタを装備した搬送用保育器への更新
- コ ローリスクの自然分娩に対応するメディカルバースセンターめばえの運営

(5) 災害拠点病院として医療救護活動の実施

- ア 集団災害の医療体制の整備
- イ 災害時に備えた医療資器材・医薬品、食料・飲料水等の備蓄
- ウ 災害医療に関する研修及び医療救護を想定した訓練の実施
- エ DMAT (災害派遣医療チーム) の機能維持及び訓練・研修会への参加

【関連指標】

指 標	平成 25 年度計画
災害訓練の実施回数	2 回
DMA T チーム数	2 チーム
DMA T 訓練への参加	2 回
DMA T 研修会への参加	2 回

(6) 感染症指定医療機関として疾病対策の実施

ア エイズ治療拠点病院として、エイズ患者の受け入れ体制の維持

イ **充実** ワクチン接種の推進、海外渡航前の予防接種外来の実施

【関連指標】

指 標	平成 25 年度計画
ワクチン接種延べ患者数	1,500 人

ウ 感染対策委員会による事例分析の検討と対策の徹底

エ 院内感染に関する研修会の実施による教育、訓練及び啓発の徹底

(7) 地域性を考慮した特定健診、がん診療、生活指導等の実施

ア メタボリック症候群への特定健診の実施

イ ジャパン・マンモグラフィーサンデーへの参加

ウ 外来化学療法室を活用したがん診療の実施

【関連指標】

指 標	平成 25 年度計画
外来化学療法室実施件数	4,800 件

エ がん患者に対する緩和ケア専門チームの活動

オ 5 大がんをはじめ各種がんに対する高度医療の提供

カ 総合相談支援室によるがん相談の実施

【関連指標】

指 標		平成 25 年度計画
がん相談	看護相談	500 件
	退院調整	1,200 件
	セカンドオピニオン	15 件
	医療・福祉相談	1,000 件

キ 5 大がんにおける地域連携クリニカルパスの充実、症例数の拡大

ク **充実** 乳がん地域連携パスの推進・拡大（地域連携パスの範囲を広げることに
より患者受け入れ拡大を目指す）

ケ **充実** 肺がん連携クリニカルパスの症例数拡大

【関連指標】

指 標	平成 25 年度計画
胃がん地域連携クリニカルパス数	12 件
乳がん地域連携クリニカルパス数	50 件
肝がん地域連携クリニカルパス数	5 件
大腸がん地域連携クリニカルパス数	25 件
肺がん地域連携クリニカルパス数	3 件

- コ **充実** 西部医療圏の医療従事者を対象としたがんの早期診断及び緩和ケアに関する研修会の開催

【関連指標】

指 標	平成 25 年度計画
緩和ケアに関する研修会の開催数	4 回

- サ **充実** 無菌室の増設に伴う白血病などの血液がんをはじめとした難治性血液疾患に対する診療充実

【関連指標】

指 標	平成 25 年度計画
骨髄移植実施件数	10 件
臍帯血移植実施件数	5 件

- シ **充実** 内視鏡手術など患者負担の少ない低侵襲手術の推進・充実
- ス **充実** がん診療連携拠点病院として、精度の高い地域がん登録の実施および統計・分析の充実
- セ **充実** 進行口腔がん患者に対する機能温存動注化学療法の実施
- ソ **充実** がん治療における支援療法としての口腔ケアの実施

【関連指標】

指 標	平成 25 年度計画
機能温存動注化学療法施行数	20 件
口腔ケア実施数	500 回

- タ **充実** 健診受診者への負担軽減のため超音波用電動診察台の更新
- チ **新規** 非侵襲的な大腸がん精密検査としてCTコロノグラフィー（大腸用自動炭酸ガス送気装置、生体情報モニタ）の導入
- ツ **充実** 高周波電気メスを使用した低侵襲な子宮頸がんに対する円錐切除術の実施

(8) 地域住民の健康増進及び疾病予防のための公衆衛生活動の実施

- ア 近年における高齢化・生活習慣病の増加を踏まえた健診センター事業の実施
- イ 専従医師の増員などによる一般健診及びがん検診の充実

- ウ **充実** 人間ドックの受け入れ拡充
- エ ホームページの更新による診療内容及び実績の公開
- オ **充実** 病院広報誌「ふれあい」の発行回数増加などによる事業宣伝・広報活動
- カ 市民公開講座の定期的な開催による適切な医療情報の提供

【関連指標】

指 標	平成 25 年度計画
病院広報誌「ふれあい」発行回数	6 回
市民公開講座開催回数	3 回

(9) 医学及び医療の向上に関する調査・研究の実施

- ア 財団法人浜松光医学財団との連携事業の実施
- イ 臨床研究の推進
- ウ とおとうみ臨床試験ネットワークへの参加
- エ 学術誌の発行（年 1 回）
- オ 軽度認知障害を対象とした臨床研究（J-ADNI-2）への参加予定

(10) 臨床研修指定病院として臨床研修医に対する教育研修の実施

- ア 臨床研修指定病院（基幹型・協力型）として、臨床研修医（医師免許取得後 1 年次及び 2 年次）の適切な教育研修の実施（1 年次 7 人・2 年次 1 1 人受入予定）
- イ 後期研修医（医師免許取得後 3 年次）制度の充実。（3 年次 3 人受入予定）
- ウ **充実** 臨床研修指定病院として研修体制を充実し、初期研修機能を強化
- エ **新規** 医師臨床研修に係る指導医講習会の開催・運営による指導医数の増員

(11) 大学の関連教育病院として学生に対する教育研修の実施

- ア 国立大学法人浜松医科大学の関連教育病院としての役割
- イ 看護師養成施設への講師派遣及び実習生などの受け入れ協力
- ウ 看護師を含む医療従事者養成施設の積極的な実習受け入れ
- エ **充実** がん化学療法、皮膚・排泄ケア、感染管理等の認定看護師教育課程の実習受け入れ
- オ 救命救急士の病院実習など地域医療従事者への研修実施

【関連指標】

指 標	平成 25 年度計画
浜松市立看護専門学校講師派遣人数（延べ人数）	594 人
浜松市立看護専門学校実習生受け入れ人数（延べ人数）	8,300 人
実習受入施設数	18 施設
認定看護師教育課程の実習（実人数）	8 人

(12) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

【医療の質、患者サービスの向上】

- ア 治療計画にもとづいた円滑なチーム医療の推進
- イ 計画的な医療機器の更新
- ウ **充実** 呼吸サポート、栄養サポート、感染管理、医療安全などを中心とした各職種間の連携強化
- エ 糖尿病チーム医療の推進、コ・メディカルとの糖尿病カンファレンスの実施
- オ 冠状動脈バイパス術および慢性閉塞性動脈硬化症のクリニカルパスの作成・運用
- カ eラーニングシステムを活用した医療知識の迅速な伝達・教育など職員研修・教育の充実
- キ **新規** ACLS、吸引、経管栄養シュミレータを活用したシュミレーション教育の充実及びシュミレーションセンターの設置検討
- ク 患者ニーズの的確な把握のため患者満足度調査の定期的な実施

【安全な医療の推進】

- ア 医療安全に係る院内委員会による事例分析の検討と対策の徹底
- イ 電子カルテシステム(患者誤認防止など)の活用による医療安全の向上
- ウ 医療クラーク室の充実による医師の負担軽減
- エ **充実** 医療安全全国共同行動目標及びWHO指針による安全な手術の実践
- オ **充実** オンラインシステムを活用した医療機器安全管理体制の充実
- カ **新規** ノンテクニカルエラーに対する対策の充実
- キ **新規** 低侵襲心臓手術(MICS)の導入に向けた職員の知識向上など体制の強化
- ク **充実** 神経損傷による合併症の防止、安全な脊椎脊髄手術の施行のため、術中神経機能をモニタリングする神経機能検査装置の導入
- ケ **新規** 手術室における患者の低体温防止、体温維持のため温風式加温装置の導入

【職員の意識改革推進とモチベーションアップへの対応】

- ア 人材育成の推進のための業績評価、職能評価に係る制度の構築
- イ 職員の意識改革のためのTQM活動(総合的品質管理)の充実
- ウ 職員研修の充実・検討
- エ 資格取得職員への対応検討
- オ 看護職員等専門・一般職種の知識・技術向上
- カ **充実** 浜松市との職員交流の実施
- ク 職員の意識改革と組織風土改革の推進

【看護師不足への対応】

- ア **充実** 修学交付金制度の継続・拡充
- イ 看護師以外の職員の活用、看護助手の積極的な配置
- ウ 卒後教育研修の充実
- エ **充実** 学校訪問など各看護師養成施設へのPR活動の強化

【関連指標】

指 標	平成 25 年度計画
学校訪問数	10 校
合同就職説明会・学校説明会参加数	12 回
看護学生臨地実習受け入れ校数	7 校
インターンシップ	2 回
病院見学会	11 回
高校生 1 日ナース体験事業	1 回
看護師再就業研修	1 回

- オ 合同就職説明会及び学校説明会等への積極的な参加
- カ 三交替制・二交替制勤務の検討
- キ 看護職募集DVD、ポスター、リーフレットの作成など看護職採用プロジェクトチームの継続
- ク **充実** 看護学生臨地実習受け入れ校数拡大を通じたリクルート活動の強化
- ケ インターンシップ、病院見学会、高校生 1 日ナース体験事業、看護師再就業研修の開催など受け入れ事業の拡充

5 事業量計画

(1)入院

年間延べ 190,479 人を予定

(病床利用率 87.0%)

(2)外来

年間延べ 241,560 人、1 日平均 990 人を予定

(人工透析を含む)

平成 25 年度事業量計画

年度		平成 25 年度 計画(A) 日数 365 日	平成 24 年度 実績見込(B) 日数 365 日	増 減 (A) - (B)	平成 23 年度 実 績 日数 365 日
入院・外来・健診					
1 入院					
	計 (606 床)	190,479 人 522 人/日	188,340 人 516 人/日	2,139 人 6 人/日	194,987 人 533 人/日
	病床利用率 (600 床)	87.0%	86.0%	1.0%	88.8%
	平均在院日数	14.0 日	13.7 日	0.3 日	14.5 日
	診療単価 (1 日当り)	60,200 円	60,400 円	△200 円	57,790 円
	診療収益	11,466,840 千円	11,375,736 千円	91,104 千円	11,268,202 千円
2 外来		241,560 人 990 人/日 実日数 244 日	244,510 人 998 人/日 実日数 245 日	△2,950 人 △8 人/日 △1 日	242,410 人 993 人/日 実日数 244 日
	診療単価	14,000 円	14,000 円	0 円	14,055 円
	診療収益	3,381,840 千円	3,423,140 千円	△41,300 千円	3,407,088 千円
3 健診					
	特定健診	16,500 人/年 69 人/日 実数 244 日	16,500 人/年 69 人/日 実数 244 日	0 人/年	16,259 人/年 69 人/日 実数 234 日
	胃がん検診	9,300 人/年	9,200 人/年	100 人/年	9,365 人/年
	大腸がん検診	11,500 人/年	11,400 人/年	100 人/年	11,362 人/年
	結核肺がん検診	15,000 人/年	15,000 人/年	0 人/年	15,130 人/年
	子宮がん検診	3,700 人/年	3,700 人/年	0 人/年	3,678 人/年
	乳がん検診	2,300 人/年	2,250 人/年	0 人/年	2,249 人/年

6 経営の質向上への取り組み

原価計算、DPC（診療費の包括払い制度）分析システム、DWH（データウェアハウス）システム等を活用し、各経営指標の分析・現状把握を行い、より効率的な病床管理や医療機器の稼働率向上などに役立て、収入増加策及び費用削減策に取り組み、収支改善と医療の質の向上を図る。

(1) 収入増加策

ア 全病床を総合的に運営管理し、病床利用率目標値を達成する。また、急性期病院として新患者を積極的に受け入れるとともに、平均在院日数の短縮化に努め、入院診療単価の向上を図る。

	平成 25 年度 計 画	平成 24 年度 実績 見 込	平成 23 年度 実 績
病床利用率	87.0%以上	86.0%	88.8%
平均在院日数	14.0 日以下	13.7 日	14.5 日
入院診療単価	60,200 円以上	60,400 円	57,790 円

イ 開業医等からの紹介率・逆紹介率の向上による、回転の良い運営体制の構築

	平成 25 年度 計 画	平成 24 年度 実績 見 込	平成 23 年度 実 績
紹介率	85.0%以上	84.7%	82.7%
逆紹介率	57.0%以上	56.0%	53.9%

ウ 原価計算等の経営指標の精度向上及び分析

エ **新規** 院内各種医療情報を蓄積したDWH（データウェアハウス）システムを活用した診療、臨床研究、経営改善などへの有効利用

オ DPC分析システムを活用した診療データの分析

カ より高いDPC（診療費の包括払い制度）機能評価係数を獲得するための体制の構築

キ **新規** 次年度の電子カルテ更新に向けたシステム構築および未導入部門への電子カルテ導入の検討

ク 在院日数短縮化を図るため、退院調整の円滑な運営を実行する退院支援プロジェクトチームの継続

ケ **新規** 事務作業の分析、簡素化などBPR（ビジネスプロセス・リエンジニアリング）を推進した事務の省力化推進

(2) 費用削減策

ア 予算・決算の管理強化、未収金対策の強化

イ 給与水準の適正化

	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度
	計 画	実績 見 込	実 績
給与費対医業収益比率	50.9%以下	50.5%	49.5%

ウ 退職者継続雇用制度を継続・活用し、職員の合理的な採用と配置に努める。

エ 時間外手当の削減

オ 委託料・賃借料の削減

- ・業務内容の見直し、長期契約の検討等により更なる削減に努める。

カ 材料費の削減

- ・後発医薬品（ジェネリック）の導入促進
- ・**新規** 近隣病院と連携した価格交渉の実施及び購買、調達業務の価格適正化支援コンサルティングの活用
- ・ディスプレイ物品の不良在庫、不適切廃棄の削減
- ・**充実** 処理時間とランニングコストを削減するため手術用具・器具の洗浄・消毒可能な大型多目的ウォッシャーディスインフェクターの更新
- ・物流システムのデータを利用した購入物品の標準化及び部署別在庫管理の徹底
- ・医薬品及び診療材料の購買努力、薬価改定（平成 24 年度診療報酬改定）に応じた適切な購入価格の実現（後発医薬品の導入推進も含む）

	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度
	計 画	実績 見 込	実 績
材料費対医業収益比率	24.7%	24.9%	23.4%
（薬品費対医業収益比率）	（13.9%）	（14.1%）	（13.2%）
（診療材料費対医業収益比率）	（ 9.9%）	（ 9.8%）	（ 9.3%）
後発品採用率（品目ベース）	11.5%以上	11.0%	10.7%

7 公益財団法人移行後の的確な法人運営

公益財団法人移行後の的確な法人運営を行うため、評議員会・理事会及び公社事務局などの組織体制を整備する。また、業務の円滑かつ速やかな意思決定を実現するため常任理事会を設置し、さらには、院内の意思決定にかかわる会議等の見直しを図り、権限と責任の明確化を目指す。

- (1) **新規** 役員会と公社、病院組織との連携を確保した効率的、効果的な公益財団の運営
- (2) **新規** 新病院建設を念頭に置いた病院組織の在り方及び組織再編の検討
- (3) **新規** P D C A サイクルを基本とした継続的な改善を行う院内管理運営体制の確立